

21年度第1四半期 決算説明資料

2021年7月
株式会社タダノ

Tadano Ltd.

<注意事項>

- 本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでおります。
- 20年度第1四半期における連結財務諸表は、Demag事業の買収に伴うPPAによる影響を加味し、遡及修正しております。PPAは、Purchase Price Allocationの略で、資産・負債を公正価値評価/配分する手続きです。

- ✓ 売上は前年同期並みも、原価率の改善と販管費の圧縮により増益
- ✓ 19年度第4四半期以来、5四半期ぶりに営業黒字
- ✓ 欧州事業再生関連収益等を特別利益に計上

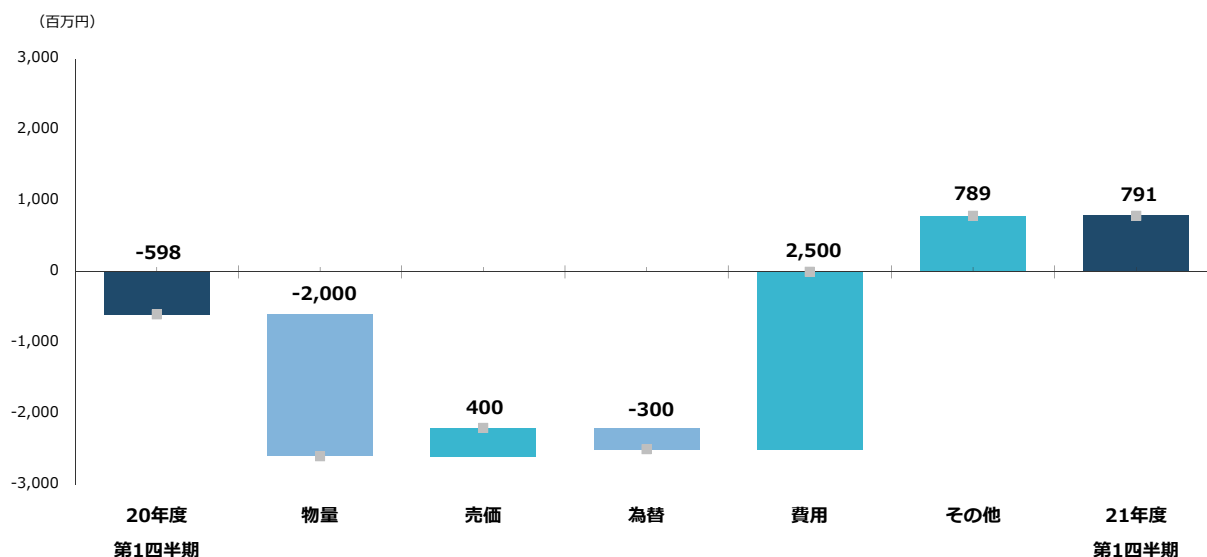
(単位：百万円)

	20年度 第1四半期		21年度 第1四半期		比較 増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	43,213	100%	42,306	100%	-906
売上原価	33,871	78.4%	32,353	76.5%	-1,518
割賦販売利益	-15	-0.0%	-	-	15
売上総利益	9,325	21.6%	9,953	23.5%	627
販管費	9,924	23.0%	9,161	21.7%	-762
営業利益	-598	-1.4%	791	1.9%	1,389
営業外損益	-227	-0.5%	-55	-0.1%	171
経常利益	-825	-1.9%	735	1.7%	1,561
特別損益	101	0.2%	10,850	25.6%	10,748
税引前当期純利益	-723	-1.7%	11,586	27.4%	12,309
法人税等	306	0.7%	916	2.2%	610
非支配株主当期純利益	-5	-0.0%	18	0.0%	23
親会社株主当期純利益	-1,024	-2.4%	10,651	25.2%	11,676

2

営業利益増減要因

- ✓ 物量は減少も、売価の改善や費用の圧縮等により13億円増加



3

- ✓ 生産増への対応によるたな卸資産増
- ✓ 欧米の一時的な運転資金需要に対応する外貨建て借入増
- ✓ 欧州事業再生手続きによる退職給付に係る負債の圧縮

(単位：百万円)

	20年度末	21年度 第1四半期末	比較 増減		20年度末	21年度 第1四半期末	比較 増減
手許資金	103,110	103,212	102	仕入債務	32,043	26,799	-5,243
売上債権	48,774	41,581	-7,192	有利子負債	94,586	102,543	7,956
たな卸資産	82,010	88,477	6,467	その他	51,885	39,725	-12,160
その他	5,254	9,103	3,848	負債計	178,515	169,068	-9,447
流動資産計	239,149	242,374	3,225	純資産計	145,404	157,318	11,914
有形固定資産	68,046	67,739	-307	負債・純資産計	323,920	326,387	2,467
無形固定資産	1,692	1,763	71				
投資その他の資産	15,031	14,508	-522				
固定資産計	84,770	84,012	-758				
資産合計	323,920	326,387	2,467				

	20年度 第1四半期	20年度	21年度 第1四半期
売上債権回転期間	94.0日	95.7日	89.4日
たな卸資産回転期間	225.8日	160.9日	190.3日
自己資本比率	50.9%	44.5%	47.8%

製品別売上高

- ✓ 建設用クレーンは日本向けで増加も、海外向けで減少
- ✓ 車両搭載型クレーンと高所作業車は増加

(単位：百万円)

	20年度 第1四半期	21年度 第1四半期	比較増減 金額	増減率
建設用クレーン	26,567	23,727	-2,840	-10.7%
車両搭載型クレーン	4,273	4,868	595	13.9%
高所作業車	3,147	3,647	500	15.9%
その他	9,224	10,062	837	9.1%
合計	43,213	42,306	-906	-2.1%

建設用クレーン、日本向け及び海外向け売上高

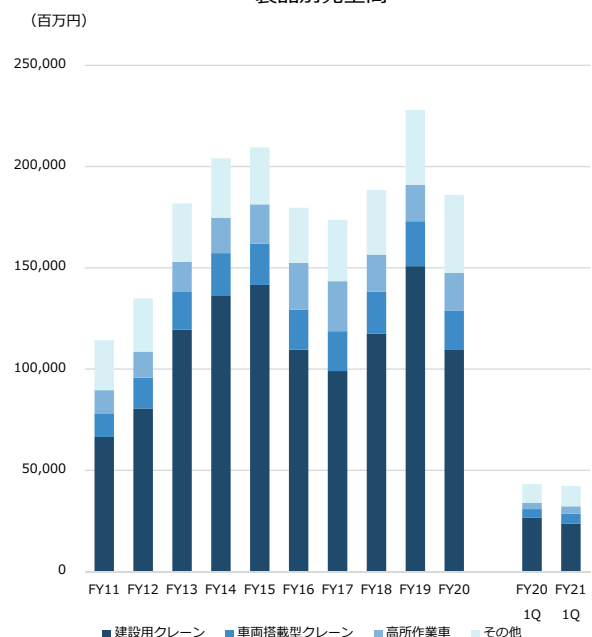
日本	5,913	7,750	1,837	31.1%
海外	20,653	15,976	-4,677	-22.6%
合計	26,567	23,727	-2,840	-10.7%

為替レート

※1-3月期中平均レート（海外子会社は12月決算のため）

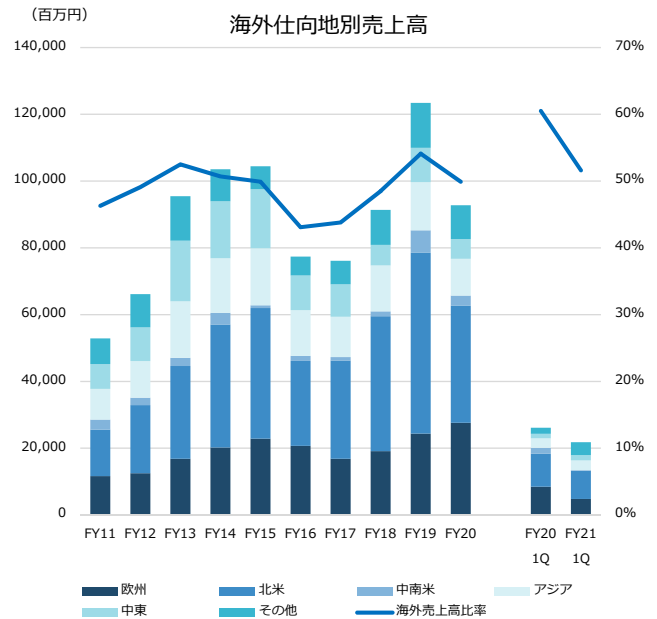
USD	108.92	105.90
EUR	120.11	127.69

製品別売上高



- ✓ 欧州、北米、中南米は減少
- ✓ その他ではオセアニアが増加

	(単位：百万円)		比較増減	
	20年度 第1四半期	21年度 第1四半期	金額	増減率
欧州	8,457	4,816	-3,640	-43.0%
北米	9,865	8,450	-1,415	-14.3%
中南米	1,799	160	-1,638	-91.1%
アジア	2,836	2,920	83	2.9%
中東	1,353	1,611	258	19.1%
その他	1,829	3,851	2,022	110.5%
小計（海外計）	26,141	21,811	-4,330	-16.6%
日本	17,071	20,494	3,423	20.1%
合計	43,213	42,306	-906	-2.1%
海外売上高比率	60.5%	51.6%		



(単位：百万円)

	20年度中間期		21年度中間期 業績予想 (4月28日)		21年度中間期 業績予想 (7月30日)		業績予想 比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
売上高	91,106	100%	100,000	100%	100,000	100%	-	-
営業利益	-1,038	-1.1%	500	0.5%	1,500	1.5%	1,000	200.0%
経常利益	-1,590	-1.7%	100	0.1%	1,200	1.2%	1,100	-
親会社株主当期純利益	-2,566	-2.8%	9,000	9.0%	10,400	10.4%	1,400	15.6%

第1四半期業績において、売上高は期初の想定通りの進捗となったものの、売上原価率の改善と販売費及び一般管理費の圧縮が、期初の想定を上回って推移したため、2021年4月28日発表の21年度中間期業績予想について、上記の通り修正いたします。なお、通期連結業績予想については、公表済みの業績予想を据え置いております。詳細につきましては、2021年7月30日に公表しました「2022年3月期第2四半期（累計）連結業績予想修正に関するお知らせ」をご参照ください。

21年度中間製品別売上高予想

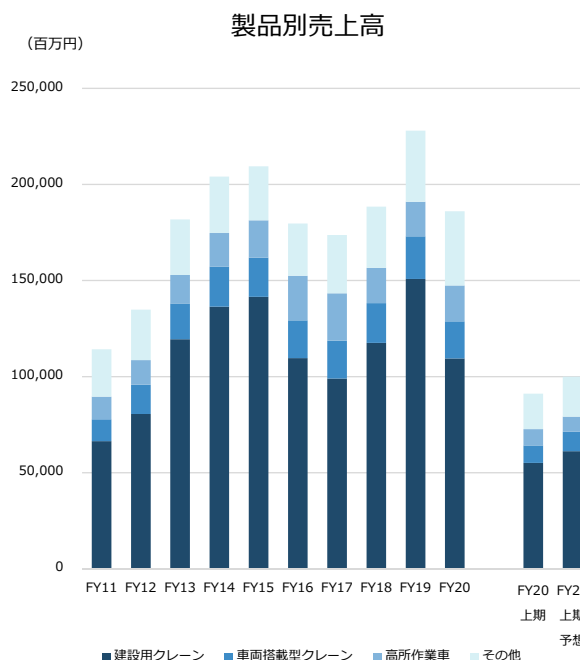
(単位：百万円)

	20年度 中間期	21年度 中間期 予想	比較増減	
			金額	増減率
建設用クレーン	55,106	61,200	6,093	11.1%
車両搭載型 クレーン	9,099	10,100	1,000	11.0%
高所作業車	8,493	7,900	-593	-7.0%
その他	18,406	20,800	2,393	13.0%
合計	91,106	100,000	8,893	9.8%
建設用クレーン、日本向け及び海外向け売上高				
日本	18,122	20,100	1,978	10.9%
海外	36,984	41,100	4,116	11.1%
合計	55,106	61,200	6,093	11.1%

為替レート

※1-6月期中平均レート（海外子会社は12月決算のため）

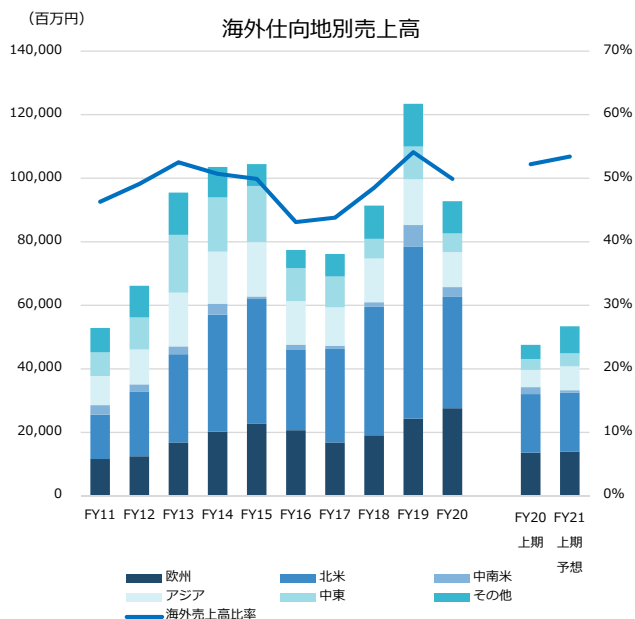
USD	108.27	107.69
EUR	119.30	129.82



21年度中間仕向地別売上高予想

(単位：百万円)

	20年度 中間期	21年度 中間期 予想	比較増減	
			金額	増減率
欧州	13,675	14,000	324	2.4%
北米	18,385	18,500	114	0.6%
中南米	2,185	800	-1,385	-63.4%
アジア	5,421	7,500	2,078	38.3%
中東	3,445	4,100	654	19.0%
その他	4,475	8,500	4,024	89.9%
小計(海外計)	47,588	53,400	5,811	12.2%
日本	43,517	46,600	3,082	7.1%
合計	91,106	100,000	8,893	9.8%
海外売上高比率	52.2%	53.4%		



※上のグラフには日本を含んでおりません。
 ※その他は、オセアニア、アフリカ、CISを含んでおります。